

2021.2.5
2021.3.1 訂正

中途採用実態調査

〔 2020年度上半期実績、2021年度見通し 〕
正規社員

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村吉弘)の人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所では、民間企業における2020年度上半期中途採用実績、2021年度の中途採用の見通しに関する調査を行い、4,516社(回収率62.7%)より回答が得られましたので、ご報告いたします。

2021年度の中途採用見通しは、「減る」が「増える」を上回る

—中小企業は中途採用需要を維持—

2020年度上半期中途採用実績は4年ぶりに

「確保できた」が「確保できなかった」を上回る

【2020年度上半期中途採用実績(正規社員)】

- ▶2020年度上半期中途採用において、人員を確保できた企業は54.8%、確保できなかった企業は43.0%であった。中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)は+11.8%ポイントと、4年ぶりに「確保できた」が「確保できなかった」を上回る。新型コロナウイルスの感染拡大により、中途採用需要も減速している。
- ▶業種別に見ると、建設業が中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)が-22.9%ポイントと最もマイナス幅が大きい。また情報通信業と医療・福祉についても、中途採用確保D.I.がそれぞれ-9.9%ポイント、-8.6%ポイントとマイナスとなった。ともにコロナ禍においても、労働需要の大きい業種である。
- ▶2019年度と比較した採用人数の割合について「新卒採用の割合を増やした」と回答した企業が10.8%、「中途採用の割合を増やした」と回答した企業が9.0%。「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」は+1.8%ポイントとなった。一方で「割合は変えない」が67.1%で採用方針を維持している企業が大半である。

【2021年度通期中途採用見通し(正規社員)】

- ▶2021年度の中途採用の見通しについては、「減る」(10.5%)が「増える」(9.5%)を上回った。2016年以来、初めて「減る」が「増える」を上回っている。業種別に見ると、「減る」が「増える」を大きく上回っているのは、機械器具製造業(-7.5%ポイント)、飲食店・宿泊業(-6.5%ポイント)、運輸業(-5.5%ポイント)など新型コロナウイルスの影響を受けやすい業種といえる。

INDEX

調査概要	2
2020年度上半期 中途採用における人員の確保	3
2020年度上半期 中途採用における人員の確保 経年比較	4
2020年度通期 新卒・中途の採用人数の割合の変更	5
2021年度 中途採用見通し	6～7
従業員規模別	6
業種別	7
業種5区分の内訳	8

【調査概要】

調査目的：全国の民間企業を対象に、正規社員の中途採用における求人動向を明らかにすること。

【2020年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業 7,200社

調査項目：2020年度上半期中途採用状況・2021年度の中途採用見通し

調査期間：2020年10月7日～11月12日

回収社数：4,516社（回収率62.7%）

ただし、2020年度上半期中途採用については、採用を実施した企業2,965社に限定して集計

回収方法：電話・FAXにて回収

《調査結果を見る際の注意点》

- 1 %の数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%と一致しない場合があります。
- 2 業種別の表において、業種にその他の区分があるため、大分類の合計社数は回答社数と一致しません。
- 3 業種区分については最後のページに添付しています。なお、ウェイトバック集計の際は、建設業・製造業・農林水産・鉱業を1つのグループとしています。
- 4 従業員規模は有期雇用者を含みます。

リクルートワークス研究所について

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルートの中にある「人」と「組織」に関する研究機関。「人材マネジメント」や「労働市場」に関する情報発信・提言活動の推進を行う。

2020年度上半期 中途採用における人員の確保 業種別に採用意欲に濃淡

- ・2020年度上半期の中途採用において、人員を確保できた企業は54.8%、確保できなかった企業は43.0%となっており、中途採用確保D.I.（「確保できた」-「確保できなかった」）は+11.8%ポイントとなっている。
- ・中途採用確保D.I.を従業員規模別に見た。5000人以上企業において、+22.1%ポイントと、他の規模に比べて高い水準にある。これらの企業は採用計画を縮小した可能性がある。また300～999人の企業でも+17.2%ポイントと比較的高い。
- ・中途採用確保D.I.は業種間でばらつきが大きい。建設業（-22.9%ポイント）、情報通信業（-9.9%ポイント）、医療・福祉（-8.6%ポイント）などで中途採用確保D.I.が低い水準にある。人手不足が目立つ業種や成長産業でコロナの影響を受けにくかったと言える。一方で、卸売業（+39.5%ポイント）、製造業（機械以外）（+29.7%ポイント）、飲食店・宿泊業（+28.0%ポイント）は高い水準にある。新型コロナウイルスの影響で業績の先行きが不透明で、需要が減退したため、採用計画を縮小している。

■従業員規模別 2020年度上半期 中途採用における人員の確保

	社数	確保できた	確保できなかった	無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」-「確保できなかった」 （%ポイント）
全 体	2965	54.8%	43.0%	2.0%	+11.8
1000人未満	2081	54.8%	43.9%	1.2%	+10.9
5～99人	414	49.5%	49.3%	1.0%	+0.2
100～299人	735	54.3%	45.3%	0.4%	+9.0
300～999人	932	57.5%	40.3%	2.0%	+17.2
1000人以上	884	55.0%	41.1%	3.7%	+13.9
1000～1999人	372	54.8%	43.0%	1.9%	+11.8
2000～4999人	300	53.3%	42.7%	4.0%	+10.6
5000人以上	212	57.5%	35.4%	6.6%	+22.1

■業種別 2020年度上半期 中途採用における人員の確保

	社数	確保できた	確保できなかった	無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」-「確保できなかった」 （%ポイント）
全 体	2965	54.8%	43.0%	2.0%	+11.8
建設業	266	38.0%	60.9%	1.1%	-22.9
製造業（機械以外）	556	64.4%	34.7%	0.9%	+29.7
機械器具製造業	416	55.3%	41.8%	2.9%	+13.5
※電気・ガス・熱供給・水道業	20	60.0%	40.0%	0.0%	+20.0
情報通信業	231	43.3%	53.2%	3.5%	-9.9
運輸業	205	49.3%	47.8%	1.5%	+1.5
卸売業	238	68.9%	29.4%	1.7%	+39.5
小売業	242	55.4%	43.8%	0.8%	+11.6
金融・保険業	137	56.9%	34.3%	8.8%	+22.6
不動産業	59	71.2%	23.7%	5.1%	+47.5
飲食店・宿泊業	89	64.0%	36.0%	0.0%	+28.0
医療・福祉	220	45.5%	54.1%	0.5%	-8.6
※教育・学習支援業	34	64.7%	32.4%	2.9%	+32.3
サービス業（他に分類されないもの）	232	50.4%	47.4%	2.2%	+3.0

注1) 2020年度上半期（2020年4月～9月）において、中途採用を実施した企業を集計対象とした。

「中途採用において、必要な人数を確保できましたか」という質問をしている。

注2) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載。

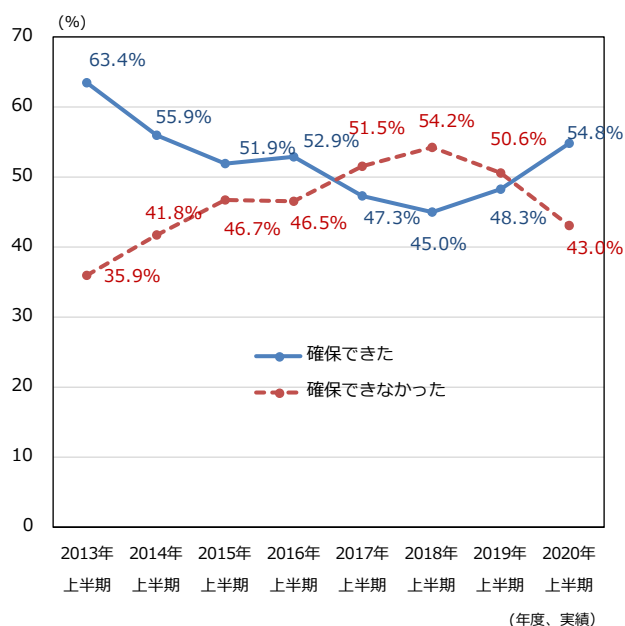
注3) 「その他」業種以外について掲載。

2020年度上半期 中途採用における人員の確保 経年比較 4年ぶりに「確保できた」が「確保できなかった」を上回る

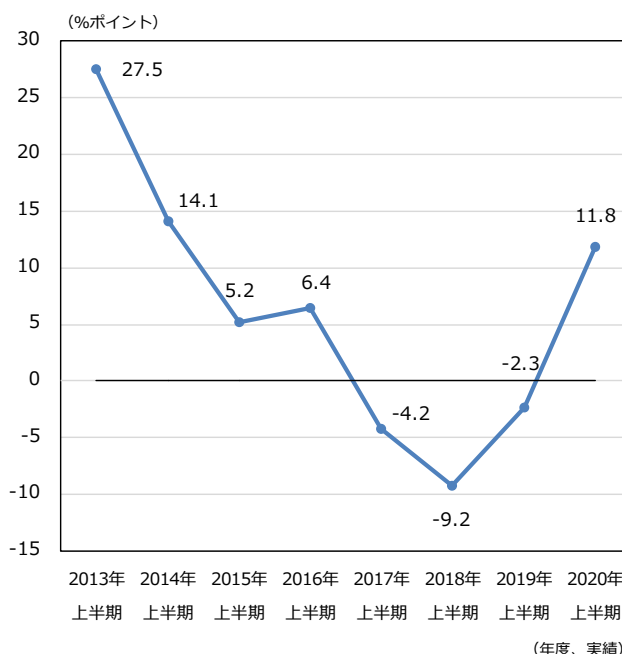
- ・中途採用における人員確保を経年比較した。2020年度上半期の「確保できなかった」は43.0%と、前年同期の50.6%から-7.6%ポイントと低下した。一方で、2020年度上半期の「確保できた」は54.8%と、前年同期の48.3%から+6.5%ポイントと上昇した。
- ・中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)は、+11.8%ポイント。4年ぶりに基準値の0を上回った。前年同期と比較して+14.1%ポイントと上昇した。
- ・2019年度の時点で求人難に改善傾向は見られていたが(*)、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響で、多くの企業で採用計画が縮小されたため、その傾向は更に高まった。

(*) リクルートワークス研究所「中途採用実態調査(2019年度実績)」

■ 中途採用における人員の確保 経年比較



■ 中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)経年比較



■ 中途採用における人員の確保 経年比較

	社数	確保できた	確保できなかった	無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」-「確保できなかった」(%ポイント)
2013年度上半期	2769	63.4%	35.9%	0.7%	+27.5
2013年度下半期	2752	66.1%	33.6%	0.3%	+32.5
2014年度上半期	2751	55.9%	41.8%	2.3%	+14.1
2014年度下半期	2631	63.1%	36.4%	0.5%	+26.7
2015年度上半期	2978	51.9%	46.7%	1.4%	+5.2
2015年度下半期	2631	58.7%	40.3%	1.0%	+18.4
2016年度上半期	2978	52.9%	46.5%	0.6%	+6.4
2016年度下半期	3128	54.9%	44.5%	0.7%	+10.4
2017年度上半期	3260	47.3%	51.5%	1.1%	-4.2
2017年度下半期	3068	49.5%	49.9%	0.6%	-0.4
2018年度上半期	3383	45.0%	54.2%	0.8%	-9.2
2018年度下半期	3342	49.9%	49.9%	0.2%	+0.0
2019年度上半期	3269	48.3%	50.6%	1.1%	-2.3
2019年度下半期	3158	56.4%	42.7%	0.9%	+13.7
2020年度上半期	2965	54.8%	43.0%	2.0%	+11.8

注1) 中途採用を実施した企業を集計対象とした。

注2) なお、季節要因が考えられるためグラフでは上半期のみ掲載している。

2020年度通期 新卒・中途の採用人数の割合の変更 多くの企業において、新卒・中途の採用ポートフォリオは変わらず

- ・企業に、2019年度と比較して、2020年度は正規社員における新卒・中途の採用人数の割合を変更したかを質問した。
- ・新卒採用の割合を増やした企業が10.8%で、中途採用の割合を増やした企業は9.0%。「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」は+1.8%ポイントとなった
- ・一方で「割合は変えない」企業も67.1%と多い。採用戦略を維持している企業が7割近くと大半である。
- ・業種別に見ると、「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」は飲食店・宿泊業(+9.2%ポイント)、機械器具製造業(+6.4%ポイント)において高い。新型コロナウイルスの影響で中途採用を縮小したものと見られる。
- ・従業員規模別に見ると、「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」は、従業員規模5000人以上の企業で+7.7%ポイントと最も大きい。5~299人の企業で-2.0%ポイントと最も小さく、従業員規模の大きな企業ほど、新卒採用を重視していたことがわかる。新型コロナウイルスの影響で、大企業は中途採用を減らし、供給過多の中途人材を中小企業が吸収した様子が見える。

■業種別 2020年度 新卒・中途の採用人数の割合の変更

	社数	新卒採用の割合を増やした	中途採用の割合を増やした	割合は変えない	採用は行わない	その他	無回答	「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」(%ポイント)
全体	4516	10.8%	9.0%	67.1%	9.0%	3.9%	0.1%	+1.8
建設業	352	9.7%	7.7%	72.4%	8.8%	1.4%	0.0%	+2.0
製造業(機械以外)	830	11.2%	10.6%	65.3%	9.4%	3.4%	0.1%	+0.6
機械器具製造業	624	13.6%	7.2%	69.2%	8.2%	1.4%	0.3%	+6.4
電気・ガス・熱供給・水道業	41	12.2%	7.3%	68.3%	9.8%	2.4%	0.0%	+4.9
情報通信業	329	10.9%	7.6%	71.1%	4.6%	5.5%	0.3%	+3.3
運輸業	292	9.6%	8.9%	63.4%	6.5%	11.6%	0.0%	+0.7
卸売業	394	9.9%	9.1%	64.2%	12.9%	3.8%	0.0%	+0.8
小売業	389	13.4%	9.8%	64.5%	9.8%	2.3%	0.3%	+3.6
金融・保険業	243	8.2%	7.4%	76.5%	4.1%	3.7%	0.0%	+0.8
不動産業	84	10.7%	6.0%	69.0%	9.5%	4.8%	0.0%	+4.7
飲食店・宿泊業	185	14.1%	4.9%	60.0%	15.7%	5.4%	0.0%	+9.2
医療・福祉	267	7.5%	13.1%	70.0%	4.9%	4.5%	0.0%	-5.6
教育・学習支援業	78	11.5%	6.4%	69.2%	7.7%	5.1%	0.0%	+5.1
サービス業(他に分類されないもの)	369	8.7%	11.7%	63.7%	11.4%	4.6%	0.0%	-3.0

■従業員規模別 2020年度 新卒・中途の採用人数の割合の変更

	社数	新卒採用の割合を増やした	中途採用の割合を増やした	割合は変えない	採用は行わない	その他	無回答	「新卒採用の割合を増やした」-「中途採用の割合を増やした」(%ポイント)
全体	4516	10.8%	9.0%	67.1%	9.0%	3.9%	0.1%	+1.8
5~299人	2008	8.7%	10.7%	58.4%	16.4%	5.8%	0.0%	-2.0
300~999人	1360	10.9%	7.3%	76.1%	3.9%	1.8%	0.0%	+3.6
1000~4999人	890	14.3%	8.2%	71.9%	2.4%	2.9%	0.3%	+6.1
5000人以上	258	15.5%	7.8%	71.3%	0.8%	3.9%	0.8%	+7.7
1000人未満 計	3368	9.6%	9.3%	65.6%	11.3%	4.2%	0.0%	+0.3
1000人以上 計	1148	14.5%	8.1%	71.8%	2.0%	3.1%	0.4%	+6.4

注1) 「昨年度と比較した、今年度の新卒採用(2020年4月入社)と中途採用の割合について、最も近いものをお選びください。(1つに○)」という質問に対して、以下の4項目から1つを選択。

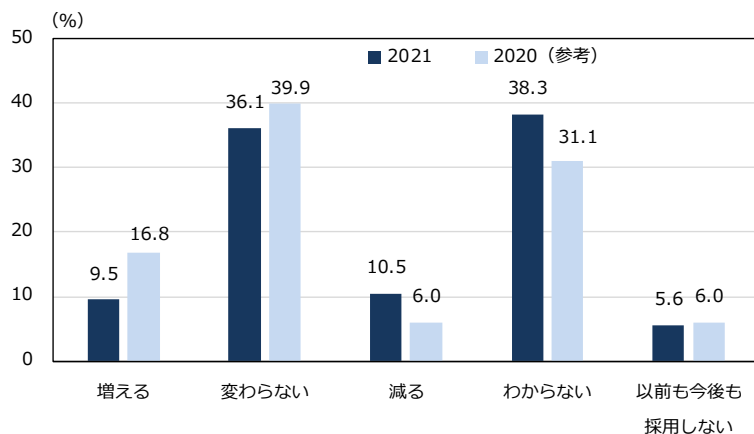
1. 新卒採用の割合を増やした 2. 中途採用の割合を増やした 3. 割合は変えない 4. 採用は行わない

注2) 今回から設問を変更したため、過去の結果との比較はできない。

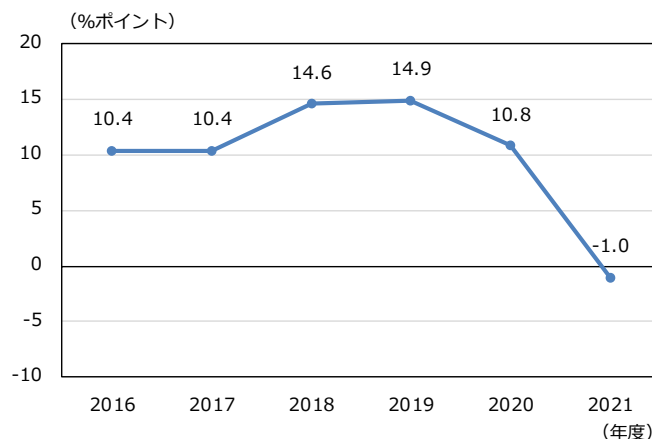
2021年度 中途採用見通し(従業員規模別) 2021年度の中途採用見通しは中小企業は堅調

- ・2021年度の中途採用の見通しについては、「増える」(9.5%)が「減る」(10.5%)を下回った。「増える」-「減る」のポイントは-1.0%ポイントとなった。2016年度から見ると、初めて基準値の0を下回った。
- ・「わからない」と回答した企業が38.3%となった。前年と比較して+7.2%ポイントと増加した。新型コロナウイルスの影響で採用数の決定に遅れが見られている。「以前も今後も採用しない」と回答した企業は5.6%。コロナ禍とはいえ、将来的な人手不足の中、多くの企業が中途採用を試みていることがわかる。
- ・従業員規模別に見ると、大手企業で「減る」の割合が大きい。特に、従業員規模1000人以上企業では、1000人未満の企業と比べて、「増える」が「減る」を大きく下回った(「増える」-「減る」のポイントが-3.9%ポイント)。一方で5~99人の中小企業は、+4.3%ポイントと中途採用を増やす見通しだ。中小企業は2020年度上半期実績でも確保できなかった企業が多かったことを考慮すると、コロナ禍とはいえ中途採用需要は高いと思われる。
- ・前年と比較すると、1000人未満の企業は「増える」-「減る」のポイントは+10.3%ポイントから+0.0%ポイントとなっており、減速傾向にある。

■2021年度 中途採用見通し



■中途採用見通しの「増える」-「減る」の経年比較



■従業員規模別 2021年度 中途採用見通し

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4516	9.5%	36.1%	10.5%	38.3%	5.6%	0.0%	-1.0
1000人未満	3368	9.0%	36.5%	9.0%	39.3%	6.2%	0.0%	+0.0
5~99人	844	9.0%	34.4%	4.7%	43.0%	8.9%	0.0%	+4.3
100~299人	1164	9.4%	36.7%	9.4%	40.2%	4.4%	0.0%	+0.0
300~999人	1360	8.8%	37.6%	11.3%	36.2%	6.1%	0.0%	-2.5
1000人以上	1148	11.0%	35.0%	14.9%	35.3%	3.7%	0.1%	-3.9
1000~1999人	509	10.2%	36.9%	16.7%	32.0%	3.9%	0.2%	-6.5
2000~4999人	381	11.5%	33.3%	12.6%	38.3%	4.2%	0.0%	-1.1
5000人以上	258	11.6%	33.7%	14.7%	37.2%	2.7%	0.0%	-3.1

<参考>従業員規模別 2020年度 中途採用見通し

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4454	16.8%	39.9%	6.0%	31.1%	6.0%	0.2%	+10.8
1000人未満	3308	16.0%	39.8%	5.7%	31.5%	6.9%	0.1%	+10.3
1000人以上	1146	19.2%	40.1%	6.8%	29.9%	3.4%	0.6%	+12.4

2021年度 中途採用見通し(業種別) 情報通信業、建設業など人手不足の業種で中途採用需要は高い

- ・2021年度の中途採用見通しを業種別(大分類)で見ると、製造業について、「増える」-「減る」のポイントが-6.0%ポイントとマイナスとなった。
- ・業種別(中分類)で見ると、「増える」が「減る」を大きく上回っているのは、情報通信業(+6.1%ポイント)、医療・福祉(+4.9%ポイント)、小売業(+4.9%ポイント)、建設業(+4.2%ポイント)である。いずれも人手不足が目立つ業種や、コロナ禍でも業績見通しが良い業種である。
- ・製造業において、前年と比較しても、「増える」-「減る」のポイントは、+4.3%ポイントから-6.0%ポイントへ-10.3%ポイントと低下した。内訳を見ると、「減る」と回答した企業は機械器具製造業において16.3%と高い。製造業はグローバルなサプライチェーンを構築する企業が多いが、新型コロナウイルスの感染拡大による、世界的な景況感の不透明さが一因である。
- ・前年と比較すると、全ての業種において、中途採用需要は減速している。

■業種別 2021年度 中途採用見通し(大分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4516	9.5%	36.1%	10.5%	38.3%	5.6%	0.0%	-1.0
建設業	352	11.9%	47.7%	7.7%	27.3%	5.4%	0.0%	+4.2
製造業	1454	7.8%	31.8%	13.8%	42.2%	4.3%	0.1%	-6.0
流通業	783	9.5%	37.4%	7.9%	37.8%	7.4%	0.0%	+1.6
金融業	243	7.4%	32.9%	4.1%	47.3%	8.2%	0.0%	+3.3
サービス・情報業	1645	10.9%	37.3%	10.5%	35.9%	5.4%	0.0%	+0.4

■業種別 2021年度 中途採用見通し(中分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4516	9.5%	36.1%	10.5%	38.3%	5.6%	0.0%	-1.0
建設業	352	11.9%	47.7%	7.7%	27.3%	5.4%	0.0%	+4.2
製造業(機械以外)	830	7.0%	31.0%	11.9%	45.7%	4.5%	0.0%	-4.9
機械器具製造業	624	8.8%	33.0%	16.3%	37.7%	4.0%	0.2%	-7.5
※電気・ガス・熱供給・水道業	41	2.4%	43.9%	4.9%	26.8%	22.0%	0.0%	-2.5
情報通信業	329	15.5%	36.8%	9.4%	33.4%	4.9%	0.0%	+6.1
運輸業	292	6.8%	37.3%	12.3%	39.0%	4.5%	0.0%	-5.5
卸売業	394	5.3%	35.3%	7.1%	44.9%	7.4%	0.0%	-1.8
小売業	389	13.6%	39.6%	8.7%	30.6%	7.5%	0.0%	+4.9
金融・保険業	243	7.4%	32.9%	4.1%	47.3%	8.2%	0.0%	+3.3
不動産業	84	13.1%	34.5%	10.7%	34.5%	7.1%	0.0%	+2.4
飲食店・宿泊業	185	12.4%	23.2%	18.9%	37.8%	7.6%	0.0%	-6.5
医療・福祉	267	12.4%	45.3%	7.5%	32.6%	2.2%	0.0%	+4.9
教育・学習支援業	78	7.7%	34.6%	5.1%	44.9%	7.7%	0.0%	+2.6
サービス業(他に分類されないもの)	369	9.2%	39.6%	9.8%	36.3%	5.1%	0.0%	-0.6

注1) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載。

注2) 「その他」業種以外について掲載。

<参考>業種別 2020年度 中途採用見通し(大分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4454	16.8%	39.9%	6.0%	31.1%	6.0%	0.2%	+10.8
建設業	315	18.7%	49.5%	4.1%	24.8%	2.9%	0.0%	+14.6
製造業	1482	13.5%	37.9%	9.2%	35.8%	3.3%	0.3%	+4.3
流通業	796	19.3%	37.2%	5.9%	28.9%	8.5%	0.1%	+13.4
金融業	269	9.3%	36.1%	4.5%	39.0%	11.2%	0.0%	+4.8
サービス・情報業	1550	19.7%	42.2%	3.7%	27.3%	6.8%	0.3%	+16.0

【業種5区分の内訳】

<建設業>

業種名
総合工事業
設備工事業、職別工事業 (大工、とび、左官、石工など)

<製造業>

業種名
食品
繊維
化学・紙・石油
医薬・化粧品
ゴム・ガラス・セラミックス
鉄鋼・非鉄金属・金属
機械・プラント・エンジニアリング
総合電機
重電・産業用電気機器
コンピュータ・通信機器・OA機器関連
家電・AV機器
ゲーム・アミューズメント機器
半導体・電子・電気部品
その他の電気機械器具製造業
自動車・鉄道・航空機等製造、 同部品製造
精密機械器具製造業
印刷関連
その他の製造業

<流通業>

業種名
商社
百貨店
スーパー・DIY・生活協同組合
専門店(複合)
専門店(洋装品・呉服)
専門店(自動車関連)
専門店(電気製品)
専門店(カメラ・メガネ・貴金属・皮革・ スポーツ用品・楽器 その他)

<金融業>

業種名
銀行
信託銀行
労働金庫・信用金庫・信用組合
証券
生命保険・損害保険
クレジット
その他金融(投資業・ベンチャーキャピタル・消費者金融 その他)

<サービス・情報業>

業種名
通信
放送業
情報サービス・調査業 (ソフトウェア業、情報処理業、コンピュータ修理など)
インターネット付随サービス業
映像・音声・文字情報制作業 (映画・ビデオ・テレビ番組・レコード・ラジオ番組制作業、新聞業、出版業)
不動産
鉄道、道路旅客運送業
道路貨物運送業
倉庫業
旅行業および 運輸に付帯するサービス業
海運・航空・その他の運輸業
電力・ガス・水道・エネルギー
飲食店
旅館、ホテル、レジャー
医療・福祉
教育・学習支援
物品質貸業
広告代理業
専門サービス業 (法律事務所、税務事務所、デザイン業、広告制作業、コンサルタントなど)
その他の事業サービス業 (理美容関連、消毒、ビルメンテナンス、職業紹介、清掃事業、その他生活関連サービス業)
その他のサービス業 (自動車整備業、機械等修理業、協同組合、廃棄物処理業、学術研究機関、宗教、経済団体など)